電気学会
産業応用部門　交通・電気鉄道技術委員会

8月実施の交通・電気鉄道研究会について

電気学会産業応用部門交通・電気鉄道技術委員会(TER)は8月20日にオンライン会議システムZOOMを利用して研究会を実施致します。皆様のご参加を心よりお待ち申し上げております。

■交通・電気鉄道　研究会
日時：2020年8月20日
場所：オンライン会議システムZOOM
募集テーマ：交通・電気鉄道一般（**web登録締切：6月5日**）
担当：古関隆章 委員長(東京大学)、渡邉翔一郎 幹事(東京電機大学)

本研究会では、オンライン会議システムを使う性質上、電気学会のガイドラインに沿った運営を行います。

●研究会に参加されるみなさま
以下3点についてご一読ください。
（1）Web開催研究会における聴講者・発表講演者ガイドライン20200511
（2）Web開催研究会における聴講参加・講演参加簡易マニュアル20200428
（3）Web開催研究会での映像コンテンツのガイドライン20200428

●座長及び発表者のみなさま
下記のマニュアルをご一読ください。
（4）WEB研究会座長＆発表者マニュアル

●座長及び運営担当者のみなさま
下記のマニュアルをご一読ください。
（5）ZOOM会議非常時対応マニュアルr3

また、円滑に運営するために、本TER研究会では独自に下記の規定を設けます。
1．連続して発表するのは3件までとし、休憩をはさみます。
2．研究会開催前の8月6日に発表者、座長、運営でリハーサルを行います。
3．質疑応答では、顔を合わせて議論を進められるように、次の2点についてご協力ください。
(1) 発表者は、事前に顔写真を運営担当者（渡邉）に送付してください。発表前に座長から紹介します。
(2) 発表中は発表者のビデオをオン、質疑応答時は座長、発表者、質問者はビデオをオンにしてください。
4．研究会参加者（聴講者含む）は上限300名です。応募多数の場合は電気学会会員を優先してご案内致します。

以下はマニュアルからの抜粋ですので、これらの内容の詳細は各マニュアルを参照ください。

以下、ZOOM を利用した研究会の実施方法の概要を説明致します。

０．前提

・研究会に発表される方、参加される方はオーディオとビデオ、発表ツール、ZOOM に参加するネットワーク環境をご用意ください。ZOOM のライセンスアカウントは運営側で用意しますが、ご所属を明示して頂く必要がありますので、サインアップの上、氏名と所属を編集した上での参加をお願い致します。

・通常の研究会では受付にて会員/非会員、所属、氏名を受付にて把握しておりますが、オンライン研究会ではログイン情報にて受付に替えさせていただきます。

・氏名と所属がわからないアカウントでログインされた場合、チャットにて連絡いたしますが、その後の対応がなければ、ホストの権限で会議から退室するように操作する場合がございますので、予めご了承ください。

１．研究会参加申し込みについて

・電気学会事務局が google フォームにて参加フォームを用意しています。これは電気学会ホームページに掲載しています。ZOOM システムの都合上、研究会参加者（聴講者含む）の上限は 300 名です。応募多数の場合は電気学会会員の方を優先してご案内致します。

２．研究会資料について

・研究会資料の購入【有料】については、希望者に開催当日にメールにて電子データをお送りするとともに、冊子体の資料に請求書を添えて郵送いたします。

・研究会にご参加いただく年間購読者についても電子データをお送りいたします。

※電子データのみの販売はいたしません。

※冊子体は発行日の観点より、発表日以降の発送となります。

・冊子体の購入を選んだ方、（TER に参加される方のうち）年間購読者、発表者、座長には電子版を配布します。メールで事務局から配信予定です。

３．研究会の運営について

・電気学会事務局がホスト、担当委員と幹事が共同ホストを担います。

・参加 URL は、発表者→登録メールアドレス、聴講参加者→google フォームに入力いただいた連絡先、それぞれにご連絡致します。

・研究会では、ホストがビデオ、オーディオ、画面共有の権限を管理します。

・参加者から不要な音が鳴った場合は，ホストまたは共同ホストが強制ミュートしますので予めご了承ください。

・研究会開始前にスライドを表示いたします。参加者の氏名欄の記載方法、ベルの時間等の注意事項を記載していますので御覧ください。

・参加者のうち、役割を担う者（座長・講演者等）につきましては、その旨を参加者名に明記いたします。

・セッション終了後の拍手は，zoom 拍手機能で替えさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

・非常事態が発生した時は，ブレイクアウトルームに管理者（座長・運営担当者）が移動します。操作は電気学会事務局が担当します。
・運営担当者は、当日の参加風景を毎回写真撮影しております。今回は、ZOOM の録画機能でその代わりとさせていただきます。なお、データは電気学会ローカルディスクに保存し、報告書の作成と今後の運営方法の参考ために利用させていただきます。
・発表者や聴講参加者の皆様には、従来どおり、撮影・録音を禁止させていただきますのでご了承ください。
・自由な意見交換を行う ZOOM ルームは、今回は用意致しませんので、予めご了承ください。

４．論文発表について
・論文発表者は順番が来ましたら ZOOM を利用して論文発表を行ってください。
・この間、発表者にはカメラ、オーディオ、画面共有の３点を操作する権限をホストから付与します。
・発表後の質疑応答が終わりましたら、ホストから権限を外します。
・発表者は，パワーポイント(ppt)ファイルと PDF ファイルをご準備ください。ppt の発表者モードでトラブルが頻発しておりますので、その際のバックアップとして PDF をご活用ください。
・研究会資料は電子媒体で用意いたします。事前に URL を配布して、当日のみ PDF 閲覧可能です。

５．質疑応答について
・発表後に質疑応答の時間を設けます。質問のある方は ZOOM のチャット欄でホストに知らせてください。
・座長が指名した方には強制的にビデオとオーディオをオンにしますので、ご芳名と所属を述べていただき、ご質問ください。
・質問内容をチャットへの記入はご遠慮ください。
・「ZOOM の手を挙げる」機能は本研究会では使用いたしません。

６．ホストの本部について
ホストは電気学会事務局（市ヶ谷)、共同ホストは東京電機大学１号館（北千住）にて運用致します。

７．Q&A
発表しようとしたらトラブルでうまく接続できない場合は？
→セッション時間内であれば順番を入れ替えますので、その間にご対応ください。なお、それでも発表できない場合は通常の研究会同様、発表者欠席で進行します。（※特に、若手論文賞対象者は発表点の評価がゼロになりますのでご注意ください。）

聴講参加者もビデオが必要？
→通常の研究会も顔を合わせて議論していますので、その状況と同じ環境づくりにご協力ください。

操作が不安なので、ホスト会場（市ヶ谷の電気学会会議室、東京電機大学講義室）で発表してよいか？

→ホスト会場への来場はご遠慮ください。

職場の規定で ZOOM が使えない場合は？
→ppt に録音して発表する方法をご検討ください。質疑応答だけ固定電話で入ることも可能です。なお、中継会議室は用意できませんのでご了承ください。

以上はマニュアルからの抜粋ですので、これらの内容の詳細は各マニュアルを参照ください。

問い合わせ先

電気学会事務局　奈良　(e-mail: nara@iee.or.jp)

交通・電気鉄道技術委員会（東京電機大学）　渡邉翔一郎（e-mail: shoichiro@mail.dendai.ac.jp）